



平成17年2月4日

平成17年3月期 第3四半期財務・業績の概況（連結）上場会社名 株式会社 **紀陽銀行**

（コード番号：8370 東証・大証第1部）

（URL <http://www.kiyobank.co.jp/>）

問合せ先 代表者役職・氏名 取締役頭取 片山 博臣

責任者役職・氏名 経営企画本部部长 松岡 靖之

TEL(073)426-7133

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

内容は、「四半期財務情報作成のための基本となる事項」(資料5頁)に記載しております。

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有(連結(新規)3社 持分法(除外)3社)

紀陽リース・キャピタル株式会社、株式会社紀陽カード及び株式会社紀陽カードディーシーは、当行が株式を追加取得したこと等により、持分法適用会社から除外し、連結子会社となりました。

2. 平成17年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成16年4月1日~平成16年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	経常収益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
17年3月期第3四半期	52,898	(-)	4,830	(-)	5,842	(-)
16年3月期第3四半期	-	(-)	-	(-)	-	(-)
(参考)16年3月期	68,071		9,965		9,907	

	1株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
17年3月期第3四半期	13	60	10	28
16年3月期第3四半期	-	-	-	-
(参考)16年3月期	22	80	17	46

(注)1. 経常収益、経常利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

2. 四半期財務・業績の概況の開示は、当第1四半期(平成17年3月期第1四半期)より実施しておりますので、前年同四半期の実績及び増減率については記載しておりません。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期(平成16年4月1日~平成16年12月31日)のわが国経済は、企業部門や個人消費の改善などを背景として着実な回復をみせたものの、後半には一部に弱い動きがみられ回復が緩やかになりました。一方、当行が主要な営業地盤とする和歌山県や大阪府南部の経済状況は、一進一退ながら持ち直しの動きがみられたものの、個人消費などは力強さに欠ける状況にあり、景況感の全国との差は依然開いていました。

このような状況のなか、当行は、地域社会により密着した営業活動を展開し、業績の伸展と経営体質の強化に努めてまいりました。

当第3四半期につきましては、事業性資金需要の回復の遅れなどから貸出金残高は前連結会計年度末比減少しておりますが、反面、投資信託の販売などにより役務収支は順調に伸びております。これらを受け、連結ベースでの業績は、経常利益48億円、四半期純利益58億円(通期業績予想比91.2%)となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総 資 産	株 主 資 本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
17年3月期第3四半期	2,830,589	82,547	2.9	119 10
16年3月期第3四半期	-	-	-	- -
(参考)16年3月期	2,805,297	80,121	2.9	111 35

[財政状態(連結)の変動に関する定性情報等]

当四半期末の総資産(連結)は前連結会計年度末比252億円増加し、2兆8,305億円となりました。貸出金は前連結会計年度末比399億円減少し、1兆7,737億円となりました。また、預金は前連結会計年度末比141億円減少し、2兆5,968億円となりました。なお預金のうち個人預金は前連結会計年度末比286億円増加し1兆9,486億円となり、また投資信託の預かり残高は前連結会計年度末比377億円増加し、796億円となりました。

3. 平成17年3月期の連結業績予想(平成16年4月1日~平成17年3月31日)

平成16年11月19日公表の業績予想から変更ございません。

比較四半期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当四半期 (平成17年3月期 第3四半期末) (A)	前年同四半期 (平成16年3月期 第3四半期末) (B)	比較 (A) - (B)	(参考) 平成16年3月期末 (C)	比較 (A) - (C)
(資産の部)					
現金預け金	46,173			41,731	4,442
コールローン及び買入手形	40,793			9,179	31,614
買現先勘定	19,999			-	19,999
債券貸借取引支払保証金	56,796			88,253	31,457
買入金銭債権	9,499			913	8,586
商品有価証券	4,068			3,983	85
有価証券	752,180			728,059	24,121
貸出金	1,773,792			1,813,748	39,956
外国為替	1,994			1,504	490
その他資産	31,130			17,621	13,509
動産不動産	39,923			40,005	82
繰延税金資産	36,723			35,781	942
支払承諾見返	48,576			50,716	2,140
貸倒引当金	31,062			26,201	4,861
資産の部合計	2,830,589			2,805,297	25,292
(負債の部)					
預金	2,596,851			2,610,981	14,130
譲渡性預金	300			-	300
コールマネー及び売渡手形	3,679			3,970	291
債券貸借取引受入担保金	42,661			11,207	31,454
借入金	34,062			29,928	4,134
外国為替	25			84	59
社債	3,000			3,000	-
その他負債	14,740			12,429	2,311
退職給付引当金	3,017			2,328	689
繰延税金負債	68			2	66
支払承諾	48,576			50,716	2,140
負債の部合計	2,746,981			2,724,649	22,332
(少数株主持分)					
少数株主持分	1,061			525	536
(資本の部)					
資本金	60,346			60,346	-
資本剰余金	2,509			2,509	-
利益剰余金	13,950			10,473	3,477
その他有価証券評価差額金	5,837			6,853	1,016
自己株式	97			61	36
資本の部合計	82,547			80,121	2,426
負債、少数株主持分 及び資本の部合計	2,830,589			2,805,297	25,292

比較四半期 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当四半期 (平成17年3月期 第3四半期) (A)	前年同四半期 (平成16年3月期 第3四半期) (B)	比較 (A) - (B)	(参考) 平成16年3月期 (C)
経常収益	52,898			68,071
資金運用収益	36,420			53,033
（うち貸出金利息）	(29,446)			(40,192)
（うち有価証券利息配当金）	(6,725)			(12,601)
役務取引等収益	7,063			7,978
その他業務収益	4,720			5,292
その他経常収益	4,693			1,766
経常費用	48,067			58,106
資金調達費用	3,055			4,009
（うち預金利息）	(944)			(1,584)
役務取引等費用	2,134			2,702
その他業務費用	3,038			347
営業経費	25,926			33,517
その他経常費用	13,913			17,529
経常利益	4,830			9,965
特別利益	1,588			3,497
特別損失	193			217
税金等調整前四半期（当期）純利益	6,225			13,245
法人税、住民税及び事業税	311			170
法人税等調整額	-			3,177
少数株主利益 （は少数株主損失）	71			10
四半期（当期）純利益	5,842			9,907

【四半期財務情報作成のための基本となる事項】

当行は、中間（連結）財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、以下のとおり投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一定の簡便な手続きを採用しております。

なお、四半期財務・業績の概況に関する計数は、監査法人による監査を受けておりません。

[簡便な手続きの内容]

1. 貸倒引当金の算定基準

平成16年9月末の自己査定をベースとし、12月末までに倒産、不渡り等の客観的な事実並びに行内格付の変更があった債務者について、当行の定める格付け・自己査定基準に基づいて算出した債権残高を基準としており、正常先・要注意先にかかる一般貸倒引当金及び破綻懸念先にかかる個別貸倒引当金については、平成16年9月中間期に適用した貸倒実績率等に基づき計上しております。

2. 税金費用の計上基準

繰延税金資産（負債）については、その他有価証券の評価差額に対する部分を除いて平成16年9月中間期に見積もった将来年度の課税所得等をもとに回収可能性を検証する等簡便な方法により計算しております。なお、法人税等調整額は四半期連結損益計算書「法人税、住民税及び事業税」に含めて表示しております。

【セグメント情報】

1. 事業の種類別セグメント情報

当四半期

	銀行業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
経常収益					
(1)外部顧客に対する 経常収益	49,619	3,278	52,898	-	52,898
(2)セグメント間の 内部経常収益	249	2,151	2,400	(2,400)	-
計	49,869	5,429	55,298	(2,400)	52,898
経常費用	45,680	4,793	50,473	(2,405)	48,067
経常利益	4,188	635	4,824	5	4,830

(注) 1. 一般企業の売上高及び営業利益に代えて、それぞれ経常収益及び経常利益を記載しております。

2. 各事業の主な内容は次のとおりであります。

(1) 銀行業・・・銀行業務

(2) その他の事業・・・事務代行業務、リース業務、ベンチャーキャピタル業務、クレジットカード業務等

2. 所在地別セグメント情報

当四半期

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び海外支店が存在しないため、所在地別セグメント情報は記載しておりません。

3. 国際業務経常収益

当四半期

国際業務経常収益が連結経常収益の10%未満のため、国際業務経常収益の記載を省略しております。

< ご参考資料 >

株式会社 紀陽銀行

平成17年3月期第3四半期の財務・業績について

1. 平成17年3月期第3四半期の業績概要

【単体】

	平成17年3月期 第3四半期	平成17年3月期 通期予想値	平成16年3月期 通期実績 (参考)	平成17年3月期 中間期実績 (参考)
業 務 粗 利 益	38,669		58,612	26,119
資 金 利 益	33,331		49,147	22,317
役 務 取 引 等 利 益	4,013		4,519	2,825
そ の 他 業 務 利 益 (うち債券関係損益)	1,324 933		4,945 4,809	977 754
経費(除く臨時処理分)()	23,910		30,708	15,813
一般貸倒引当金繰入額()	1,584		3,551	1,775
業 務 純 益	13,174	16,300	24,351	8,531
うちコア業務純益	13,824	18,700	23,093	9,552
臨 時 損 益	8,794		14,421	6,860
不良債権処理額()	11,044		12,026	9,471
株 式 関 係 損 益	2,924		636	2,860
そ の 他 臨 時 損 益	674		1,758	249
経 常 利 益	4,379	6,800	9,930	1,671
特 別 損 益	1,184		3,225	624
税引前四半期(当期)純利益	5,563		13,156	2,295
法人税、住民税及び事業税()	171		28	23
法人税等調整額()	-		3,304	179
四半期(当期)純利益	5,392	6,000	9,823	2,139

(単位：百万円)

【連結】

	平成17年3月期 第3四半期	平成17年3月期 通期予想値	平成16年3月期 通期実績 (参考)	平成17年3月期 中間期実績 (参考)
経 常 収 益	52,898	69,000	68,071	36,876
経 常 利 益	4,830	7,300	9,965	1,990
四半期(当期)純利益	5,842	6,400	9,907	2,433

(注) 1. コア業務純益とは、一般貸倒引当金繰入前、債券関係損益控除後の業務純益です。

2. ()は損失項目です。

3. 上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

平成17年3月期第3四半期までの業績は概ね計画どおり推移しており、平成16年11月19日に公表した平成17年3月期の見通しに変更はございません。

< ご参考資料 >

株式会社 紀陽銀行

2. 比較四半期 個別貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当四半期 (平成17年3月期 第3四半期末) (A)	前年同四半期 (平成16年3月期 第3四半期末) (B)	比較 (A) - (B)	(参考) 平成16年3月期末 (C)	比較 (A) - (C)
(資産の部)					
現金預け金	46,140			41,731	4,409
コールローン	40,793			379	40,414
買現先勘定	19,999			-	19,999
債券貸借取引支払保証金	56,796			88,253	31,457
買入手形	-			8,800	8,800
買入金銭債権	9,499			913	8,586
商品有価証券	4,068			3,983	85
有価証券	751,296			727,028	24,268
貸出金	1,787,665			1,815,425	27,760
外国為替	1,994			1,504	490
その他資産	18,272			17,576	696
動産不動産	38,825			39,944	1,119
繰延税金資産	35,844			35,362	482
支払承諾見返	48,514			50,649	2,135
貸倒引当金	33,328			27,017	6,311
資産の部合計	2,826,382			2,804,534	21,848
(負債の部)					
預金	2,599,647			2,613,016	13,369
譲渡性預金	300			-	300
コールマネー	3,679			3,970	291
債券貸借取引受入担保金	42,661			11,207	31,454
借入金	34,062			29,928	4,134
外国為替	25			84	59
社債	3,000			3,000	-
その他負債	10,086			10,894	808
退職給付引当金	3,001			2,320	681
支払承諾	48,514			50,649	2,135
負債の部合計	2,744,977			2,725,071	19,906
(資本の部)					
資本金	60,346			60,346	-
資本剰余金	2,509			2,509	-
資本準備金	2,509			2,509	-
利益剰余金	12,834			9,889	2,945
利益準備金	492			2	490
四半期(当期)末処分利益	12,341			9,886	2,455
その他有価証券評価差額金	5,802			6,779	977
自己株式	88			61	27
資本の部合計	81,405			79,463	1,942
負債及び資本の部合計	2,826,382			2,804,534	21,848

< ご参考資料 >

株式会社 紀陽銀行

3. 比較四半期 個別損益計算書

(単位：百万円)

科目	当四半期 (平成17年3月期 第3四半期) (A)	前年同四半期 (平成16年3月期 第3四半期) (B)	比較 (A) - (B)	(参考) 平成16年3月期 (C)
経常収益	49,510			67,694
資金運用収益	36,386			53,156
(うち貸出金利息)	(29,419)			(40,317)
(うち有価証券利息配当金)	(6,719)			(12,599)
役務取引等収益	6,411			7,493
その他業務収益	2,242			5,292
その他経常収益	4,469			1,750
経常費用	45,130			57,763
資金調達費用	3,054			4,009
(うち預金利息)	(944)			(1,584)
役務取引等費用	2,397			2,974
その他業務費用	918			347
営業経費	25,626			33,557
その他経常費用	13,132			16,875
経常利益	4,379			9,930
特別利益	1,377			3,394
特別損失	193			168
税引前四半期(当期)純利益	5,563			13,156
法人税、住民税及び事業税	171			28
法人税等調整額	-			3,304
四半期(当期)純利益	5,392			9,823
前期繰越利益	7,847			-
中間配当額	748			-
利益準備金積立額	149			-
合併による未処分利益受入	-			62
四半期(当期)未処分利益	12,341			9,886

< ご参考資料 >

株式会社 紀陽銀行

4. 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」(単体)

(単位: 億円) (参考) (単位: 億円)

	平成16年12月末	平成15年12月末	平成16年9月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	231	329	257
危険債権	509	616	511
要管理債権	584	553	606
合計	1,324	1,499	1,376

(注) 各四半期末におけるそれぞれの開示区分の金額は、四半期中の回収額等を加減した各四半期末時点における金額をベースとし、四半期中に倒産、不渡り等の客観的な事実ならびに行内格付の変更等があった債務者について、当行の定める格付・自己査定基準に基づき債務者区分の見直しを行い集計しております。

5. 自己資本比率(国内基準)

(参考)

	平成17年3月末(予想値)	平成16年9月末(実績)
(単体ベース)自己資本比率	8.0 %程度	7.80 %
Tier 1比率	5.8 %程度	5.61 %
(連結ベース)自己資本比率	8.1 %程度	7.93 %
Tier 1比率	5.9 %程度	5.77 %

(注) 上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

6. 時価のある有価証券の評価差額(単体)

その他有価証券の評価差額

(単位: 億円) (参考) (単位: 億円)

	平成16年12月末				平成15年12月末				平成16年9月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他有価証券	6,975	97	120	23	6,644	67	145	77	7,226	55	84	28
株式	357	74	77	3	410	74	88	14	335	52	56	4
債券	5,034	16	26	9	4,485	33	15	49	5,418	2	16	13
その他	1,583	5	16	10	1,747	26	40	14	1,473	0	10	10

(注) . 前年同四半期末の「評価差額」及び「含み損益」は、償却原価法適用前・減損処理前の帳簿価額と時価との差額を、当第3四半期末及び前期末は償却原価法適用後・減損処理後の帳簿価額と時価との差額を計上しております。

. 有価証券のほか、買入金銭債権中の信託受益権等も含めております。

満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位: 億円) (参考) (単位: 億円)

平成16年12月末				平成15年12月末				平成16年9月末			
帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益			帳簿価額	含み損益		
	うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
382	0	3	2	387	0	1	2	472	1	2	1

子会社・関連会社株式で時価のあるもの

該当ありません。

< ご参考資料 >

株式会社 紀陽銀行

7. デリバティブ取引（単体）

（1）金利関連取引 該当ありません。

（2）通貨関連取引

（単位：億円）（参考）（単位：億円）

区分	種類	平成16年12月末			平成15年12月末			平成16年9月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所	通貨先物	-	-	-	-	-	-	-	-	-
店頭	通貨スワップ	308	0	0	-	-	-	62	0	0
	為替予約	110	0	0	117	2	2	118	0	0
	通貨オプション	-	-	-	-	-	-	-	-	-

（注）ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

（3）株式関連取引 該当ありません。

（4）債券関連取引

（単位：億円）（参考）（単位：億円）

区分	種類	平成16年12月末			平成15年12月末			平成16年9月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所	債券先物	148	0	0	120	0	0	-	-	-

（注）ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

（5）商品関連取引 該当ありません。

（6）クレジットデリバティブ取引

（単位：億円）（参考）（単位：億円）

区分	種類	平成16年12月末			平成15年12月末			平成16年9月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
店頭	クレジット・デフォルト・オプション	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他	34	0	0	44	0	0	34	0	0

（注）ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

8. 預金、貸出金の残高（単体）

（単位：億円）（参考）（単位：億円）

	平成16年12月末	平成15年12月末	平成16年9月末
預金（未残）	25,996	26,260	25,689
うち個人預金	19,486	19,514	19,158
貸出金（未残）	17,876	18,212	17,503
うち消費者ローン	5,664	5,477	5,577

以上